

## 会長ご挨拶

特定非営利活動法人機能紙研究会

会長 内村 浩美



2020年度から会長を仰せつかりました内村浩美と申します。これまで半世紀以上、化繊紙研究会並びに機能紙研究会をご支援いただき、産官学の交流と情報交換の場、そして、ビジネスの共創にご尽力いただきました執行部の皆様、理事、会員、事務局の皆様方に厚くお礼申し上げます。機能紙研究会の発展のために多大なご功績を残されました磯貝明前会長、藤原勝壽前専務理事に代わりまして、新たな執行部として、濱義紹副会長、森川政昭専務理事、内村の新体制でスタートすることになりました。本研究会の発展のために、精一杯務めてまいりますので、会員の皆様には引き続き、ご支援・ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

これまで活動して来られた機能紙研究会及び会員の皆様方の業績をふり返りますと、日本の高度経済成長とともに機能紙には様々な高機能シート材料が求められ、これらのニーズに対応するために、種々の新素材の開発と複合化・成形・シート化技術が見い出され、高付加価値で、高性能な機能紙が製品化されてきました。これに加えて最近では、多くの企業でSDGsに対応した製品設計を考えなければならない状況にありますし、海洋マイクロプラスチック問題や地球温暖化防止対策など、循環型で、持続可能な社会基盤の構築を目指す必要があります。特に、今年は新型コロナウイルス感染防止対策のための製品や、その部素材の供給が急務となっておりますし、機能性を有する「素材」の重要性がクローズアップされています。このような観点から、機能紙研究会においては、機能性素材や環境負荷低減、新型コロナウイルス感染防止対策等の社会動向を注視しながら、機能紙の研究開発に寄与する調査研究や、これらの技術の普及向上を図るための教育啓発を行い、会員の皆様に喜んでいただけるような活動を推進していきたいと考えております。

機能紙研究会が今後も益々発展していくための仕組みづくりを、執行部、理事会、企画委員会、事務局等で検討してまいりますので、今後とも会員皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(愛媛大学 社会連携推進機構 紙産業イノベーションセンター長)